

大 樹

学校だより NO.13 令和8年3月11日

【学校教育目標】

心身ともに健康で、自ら学び、高め合い、
自立する陵北っ子の育成

～ 一人一人を輝かせる教育の実践 ～

心温まるひととき～6年生を送る会～

3月3日(火)に、5年生の計画委員が中心となって、心温まる「6年生を送る会」を開催してくれました。これまで学校を引っ張ってきてくれた6年生に、下級生が感謝の気持ちを表しました。

1年生からは、大好きな6年生に、感謝を込めて歌とダンスを披露してくれました。6年生一人ひとりの首にかけられた手作りメダルには、1年生からの「ありがとう」の気持ちがぎゅっと詰まっていた。

2年生は、「これだ～れの?」というクイズで楽しませてくれました。6年生の持ち物をクローズアップして紹介するユニークな視点に、6年生も「あ、僕のだ!」「私のだ!」と、自分たちの過ごしてきた日常を懐かしく思い出しながら、笑顔になれたのではないのでしょうか。

3年生は、カリスマ調査隊になりきって、6年生の凄さを劇で暴いてくれました。Snow Manの「カリスマックス」にのせたキレのある歌とダンスからは、6年生という「憧れのカリスマ」を追いかけていたいという、強い決意と敬意が伝わってきました。

4年生からは、6年生へのリスペクトを込めた劇とクイズ、そして真剣勝負の挑戦状が叩きつけられました。これまで背中を見てきた6年生に真っ向から挑む姿に、4年生としての頼もしい成長を感じることができました。

5年生は、伝統の力を試すような綱引き大会。5回もの勝負を挑んだ5年生の気迫、そして最後には先生チームとの白熱した対戦もあり、会場全体が一つになって盛り上がりました。

本当に、心温まる楽しい時間でした。これらの思いに6年生は、感謝の気持ちを込めて、楽しいコントと「ありがとう」の歌を披露してくれました。「これまでありがとう」「あとは任せて」。そんな言葉にできない思いが、各学年の劇や歌、そして6年生がお返しに見せてくれたコントや合唱に溢れていました。下級生に見送られながら退場する6年生の背中、どこか誇らしく、そして少し寂しげでもありました。

この会を通じて、子どもたちは「卒業」という節目を、肌で、心で、実感したのではないのでしょうか。素晴らしい時間を共有してくれた全校児童に拍手を送ります。



〈花のアーチをくぐって入場〉



〈1年生〉



〈2年生〉



〈3年生〉



〈4年生〉



〈5年生〉



〈6年生〉



〈6年生〉



〈6年生〉



〈拍手に見送られて退場〉